

わかば通信



第19号

平成24年10月発行

東海村議会議員

越智たつや

議会報告

発行人：越智たつや後援会

日立市相賀町17-3

(日立製作所労働組合 日立支部内)

TEL 0294(26)0183

FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。

朝夕心地よい秋の風が感じられる季節となり、東海村でも稲刈りの最盛期を迎えました。

暑くて長い夏を乗り越え、天の恵みの戴きがたくさん実にごまだった今年の新米、生産者の笑顔がほころびます。

実りの秋を堪能しましょう。

越智辰哉



NEWS

～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ～



コミセンの機能強化ようやくスタート



▲井戸の掘削作業の様子(村松コミセン)



◀コミセンを含む公共施設に海拔表示ステッカーを掲示

村役場では、平成23年度に「震災の教訓を活かしたまちづくり推進プラン」を策定し、災害時における住民支援の拠点（基幹避難所）として各コミュニティセンターを位置付け、備蓄倉庫設置や井戸の掘削、あるいは非常用発電機等の必要な資機材を配備し、避難所としての機能強化を図る方針を示していました。

しかし、震災から1年以上経過してもなお、防災インフラ整備の改善が成されておらず、これまでの議会質問において早期の実施を求めてきましたが、ようやく井戸の掘削作業など具体的な動きがスタートしました。

今後も継続して、コミセンの機能強化の経過をチェックしていくとともに、避難所運営のマニュアル策定についても、実行性有る内容となるよう役場行政に提言していきます。

- MCA 無線機の配備
- 備蓄倉庫の設置
- 非常用発電機等の防災資機材の配備
- 井戸の掘削および屋外トイレの設置 / 改修
- 給水のための簡易水槽の配備

コミセンの機能強化に向けた主な内容

中央公民館の耐震診断など 補正予算を可決

平成24年9月定例会を、9月3日から24日までの会期で開きました。

今議会では、平成23年度会計の決算認定や平成24年度補正予算案など30件の議案が提案されましたが、慎重審議の結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。



補正予算の使い道 これらの事業に注目！

◆ 新しいタイプの 戸別受信機を導入（315万円）



従来のタイプより軽量で持ち運びやすく、ラジオ機能を兼ね備えた戸別受信機を導入します。新規貸出または故障による交換の際に、順次新しいタイプに交換します。

◆ 中央公民館の耐震診断（892万円）

複合的な機能を備え多目的利用が可能な「生涯学習センター」として建替えを計画していましたが、震災の影響により方針の見直しが決定。これを受け、老朽化した公民館の今後の方向性を再度検討するために、耐震診断を実施するものです。

◆ 文化センター会議室の 耐震補強工事（2,583万円）



震災の影響により使用不可となっている文化センター2階の会議室を耐震補強するための工事費用です。施設の再開は平成25年4月の予定。

Point!



未使用の焼却炉に電気代が必要？

ひたちなか・東海クリーンセンターの供用開始にともない、東海村にある清掃センターの焼却炉は、現在使用していません。

しかし、焼却炉のフィルターに電気を入れておかないと、これまで吸着していた有害物質が落下して環境汚染につながるなどの理由から、焼却炉が運転停止している現在もお、フィルターへの通電を継続し多額の電気代が必要となっていることが、明らかになりました。

今後は、フィルターの撤去工事を行い不用な電気代が掛からないようにする、とのことですが、コスト意識に欠けずさんな管理を指摘し、再発防止を求めました。

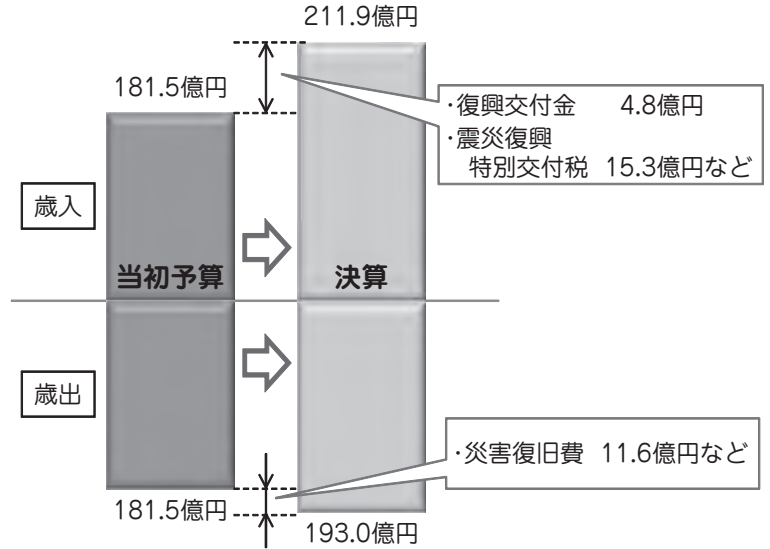




平成23年度は、東日本大震災により被災した道路や下水道、さらには公共施設等の災害復旧工事を実施したことにより、事業規模が当初予算を大きく上回りました。

また、これらの事業実施に際しては、国から20億円を超えて交付された復興交付金や特別交付税の活用、そして、村として年度当初に予定していた事業の休止・先送りを行うことで、復旧財源として充当しました。

このように、平成23年度は震災対応により、例年とは異なる予算執行となりましたが、本村の定常的な財政状況は、徐々に余裕が無くなっていく傾向にあることから、引き続き、健全な村政運営に努める必要があります。



Point!



決算審議～私たちの税金、どう使ったの？

決算審議は、私たちの税金が役場執行部によってどのように使われたのか、ということ振り返る最大の機会であり、予算審議よりも重要視しています。

今回の平成23年度決算では、議会から役場執行部に対して、右に示す内容を含め9項目に渡り、留意すべき事項として指摘しました。

◆ 公共施設の自動販売機撤去



震災以降、「節電対策や住民の意識改革のため」という理由で、村内公共施設の自動販売機が撤去されています。しかし、自販機の撤去により村の歳入が減少したことや、施設利用者の声などを踏まえ、特にスポーツ施設等について再設置を検討するよう指摘しました。

◆ 図書館の壁画設置工事



図書館のロビーに設置してある壁画は、増築工事の際に設置したのですが、作品の選定経過や工事費目の取り扱いなど、不透明な点がありました。よって、今後の公共施設における美術品設置の際は、透明性を確保するよう指摘しました。



TOPICS

～ 「越智たつや」の議員活動の一部を紹介します ～



▲9月9日 東海村敬老会の式典に来賓として参加

平成24年度敬老会（南中学校区）の式典に参加しました。

東海村内では、103歳の最高齢者を筆頭に100歳以上の方は実に16人。長寿社会、超高齢化社会の到来を肌身で感じる数字でした。

何気なく参加者のお顔を拝見していましたが、戦後の復興を力強く歩んできた充実感に満ち溢れた表情であり、友人の方々と1年ぶりの再会を喜び合う姿がとても印象的でした。



▲8月15日 日立市で行われた「8.15平和行進」に参加



▲8月19日 須和間自治会祭り来賓
&スタッフとして参加

VOICE

～ リレーで綴る村民の声 ～



三浦 和彦さん(フローレスタ在住)

東海村に越してきて、早や9年が過ぎようとしています。小さかった子供たちも6年生と4年生になり、日スポーツに汗を流しています。

東海村には様々な施設がありますが、中でも「絆」には大変お世話になり、カラーバットでの野球にはじまり、サッカーやバスケットボールの練習をしながら家族の「絆」を育て参りました。

これからも、このような素晴らしい施設を含め、誰もが住みやすい村にして頂けるようお願いいたします。



編集後記

最近めっきり「漢字」が書けなくなったと感じる。街でばったり会った知人の名が思い出せないことも増えてきたが、それとは若干異なる症状。紛れも無く、パソコンや携帯電話に依存し、「文字」を書く機会が減ったからであろう。

近頃は、「手書き入力機能」が付いた携帯端末も登場し、画面にサッと手書き入力すると文字認識して変換するらしい。便利な世の中になったなと感じつつ、味気無くも思えてくる。

過日、小1の娘から手書きのメモ「おとうさんえ」をもらった。タイトルの文字も間違っているし、内容も内容であったが、手書きの文章の温もりを改めて感じた瞬間であった。

そろそろ今年も年賀状の準備に取り掛かる時期である。今年は手書きのスペースを少し増やしてみよう。

<0.>